

平成 21 年度 農業農村工学会 資源循環研究部会 講演会・研究発表会
～資源循環技術の確立による低炭素むらづくりを目指して～ を開催しました

(社)地域資源循環技術センターが事務局を努める (社)農業農村工学会 資源循環研究部会の講演会・研究発表会が平成 21 年 12 月 11 日に東京ビッグサイトにて開催されました。本会は、農村における水の循環やバイオマスの利活用にかかる技術の研究・開発の推進、部会員間の学術交流を目的に開催されるもので、今年で第 7 回となります。本年度は、「水・バイオマス資源の循環利用技術の展開」をテーマに、講演会、研究発表と盛りだくさんの内容で行われました。

京都府南丹市の佐々木稔納市長により基調講演「南丹市におけるバイオマスの取組と低炭素むらづくり」を行っていただき、続く研究発表会では 10 件の発表がありました。

バイオガス技術の開発やその普及促進、利用に関する研究成果など、資源循環に関する幅広い発表が行われ、本年度よりセッション形式に変更し、活発な質疑が行われました。

また、研究発表については研究部会幹事による審査が行われ、最優秀の発表課題には資源循環研究部会長賞が授与されました。

本年度の部会長賞は、「メタン消化液の大規模圃場への利用」が選定され、高橋部会長から発表者の柳讚錫さんに賞状と副賞が手渡されました。

